

原文

修正文

指摘事由

南京事件の犠牲者数について、諸説を十分に配慮していない。

p. 107 11行

この間、日本軍は南京の占領に際し、多数の中国人を殺害し、略奪・放火・暴行をおこなった。この南京大虐殺（南京事件）の犠牲者の数については、のちに極東国際軍事裁判で20万人以上とされ、日本側の責任がきびしく追及された。

この間、日本軍は南京の占領に際し、多数の中国人を殺害し、略奪・放火・暴行をおこなった。この南京大虐殺（南京事件）の犠牲者の数については、のちに極東国際軍事裁判で20万人以上とされ、日本側の責任がきびしく追及された。

4犠牲者数については、十数万人以上とする説、4万人前後とする説など、さまざまな説があるが、正確な数は明らかとなっていない。なお、中国側は、30万人としている。

番号7の関連修正（脇注の追加により、以降の脇注番号を修正。）

p. 107 17行, 18行, 21行, 脇注

華北の農村地帯では、中国共産党軍が抗日根拠地（解放区）を拡大し、ゲリラ戦を展開した。そのため、日本軍の支配は都市と鉄道に限られた。1940（昭和15）年に中国共産党軍が大規模な攻勢をかけると、大きな打撃を受けた日本軍は、報復として抗日根拠地・農村に対して攻撃を加え、中国側に多大な損害を与えた。

また、中国北部のハルビンには、関東軍防疫給水部(731部隊)がおかれた。ここでは、細菌兵器（生物兵器）の開発がおこなわれ、中国各地で使用された。このほか、中国戦線では、毒ガス（化学兵器）も使用された。

4中国側はこれを、「焼きつくす、殺しつくす、奪いつくす」の意味で「三光（焼光・殺光・搶光）作戦」とよんで日本側を非難した。

5細菌兵器の研究の目的で、中国人などに対して、人体実験がおこなわれた。

6瀬戸内海の大久野島（広島県竹原市）には秘密工場がつくられ、1945年まで毒ガスの製造がおこなわれた。なお、戦後、中国に残された数十万発の毒ガス弾は、1995年に日本が批准した化学兵器禁止条約にもとづいて、日本政府によって廃棄処分されることとなった。

華北の農村地帯では、中国共産党軍が抗日根拠地（解放区）を拡大し、ゲリラ戦を展開した。そのため、日本軍の支配は都市と鉄道に限られた。1940（昭和15）年に中国共産党軍が大規模な攻勢をかけると、大きな打撃を受けた日本軍は、報復として抗日根拠地・農村に対して攻撃を加え、中国側に多大な損害を与えた。

また、中国北部のハルビンには、関東軍防疫給水部(731部隊)がおかれた。ここでは、細菌兵器（生物兵器）の開発がおこなわれ、中国各地で使用された。このほか、中国戦線では、毒ガス（化学兵器）も使用された。

5中国側はこれを、「焼きつくす、殺しつくす、奪いつくす」の意味で「三光（焼光・殺光・搶光）作戦」とよんで日本側を非難した。

6細菌兵器の研究の目的で、中国人などに対して、人体実験がおこなわれた。

7瀬戸内海の大久野島（広島県竹原市）には秘密工場がつくられ、1945年まで毒ガスの製造がおこなわれた。なお、戦後、中国に残された数十万発の毒ガス弾は、1995年に日本が批准した化学兵器禁止条約にもとづいて、日本政府によって廃棄処分されることとなった。